

英検 試験概要

英検

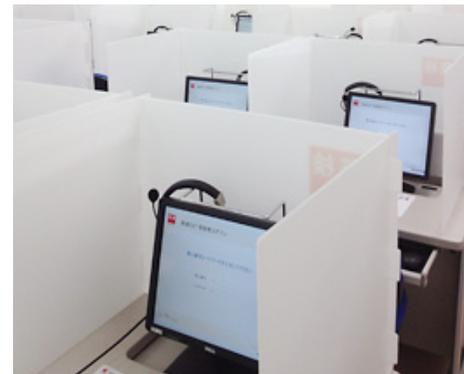
- ・年3回実施 (CBT形式は別日程で年3回実施)。
- ・受験料(2級):本会場 5,800円/準会場 5,400円
- ・一次試験(RLW)合格者が二次試験(S)を受験。

・一次試験

金/土曜日(準会場*)、日曜日(本会場*)にて実施。
(*全国約230都市・400会場)
(*準会場は約17,000)

・二次試験

日曜日(本会場)にて実施。



※実用英語技能検定4技能CBTは現在開発中。

・海外留学

北米を含む約400大学・カレッジが留学時の語学力証明として英検を認定。オーストラリアでは5州の州立高校全校が認定。

・大学での優遇措置

全国336校で出願資格・得点加算/試験免除・加点・判定優遇/合否参考等の優遇。

・高校/高専での優遇措置

全国1267校での入学前(試験免除・判定優遇/点数加点/出願優遇/出願条件等)及び入学後(授業料免除・奨学金/給付金/単位認定等)優遇。

英検 試験概要

英検

構成・各セクション内容・所要時間 (2級)

測定技能	項目	形式・課題	形式・課題詳細	問題数	解答形式	試験時間(分)
リーディング	①	短文の語句空所補充	文脈に合う適切な語句を補う。	20	4肢選択 (選択肢印刷)	85
	②	長文の語句空所補充	パッセージの空所に文脈に合う適切な語句を補う。	6		
	③	長文の内容一致選択	パッセージの内容に関する質問に答える。	12		
ライティング	④	英作文	指定されたトピックについての英作文を書く。	1	記述式	
リスニング	⑤	会話の内容一致選択	会話の内容に関する質問に答える。 (放送回数1回)	15	4肢選択 (選択肢印刷)	25
	⑥	文の内容一致選択	短いパッセージの内容に関する質問に答える。(放送回数1回)	15		
スピーキング	⑦	音読	60語程度のパッセージを読む。	1	個人面接	7
	⑧	パッセージについての質問	音読したパッセージの内容についての質問に答える。	1		
	⑨	イラストについての質問	3コマのイラストの展開を説明する。	1		
	⑩	受験者自身の意見など	ある事象・意見について自分の意見などを述べる。	1		
	⑪	受験者自身の意見など	日常生活の一般的な事柄に関する自分の意見などを述べる。	1		

それぞれの測定技能に対してCSE(Common Scale for English)スコアを付与。

ライティング (2級)

TOPIC

*Today, more and more young people are starting their own companies.
Do you think this is a good idea?*

POINTS

- *Experience*
- *Freedom*
- *Income*

与えられたTopicに対して、80-100語程度で自分の意見と理由やその補足情報を書く。

スピーキング Question No.4 (2級)

Today, many people buy secondhand goods such as used books and used clothing. Do you think more people will buy secondhand goods in the future?

与えられた質問に対して、意見と理由及びその補足説明を述べる。

採点/評価概要

●ライティング

与えられた課題に対する意見とその理由が書かれた英文に対して、内容・構成・語彙・文法の4観点を用いた採点。

●スピーキング

与えられた質問に対する回答に対して、応答内容、発音、語い、文法、語法、情報量の面、及び面接を通して積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲や態度などの観点で評価。

採点/評価の統計的处理

●ライティング

- ・予め定めた資格要件を満たした採点者は、採点前にQC (Quality control)用の共通答案を採点。
- ・予め定めた基準採点結果との差異が大きい採点者はその後の採点業務から外す。

●スピーキング

- ・予め定めた資格要件を満たした面接官は、資格登録前に評価トレーニングを経た後、QC(Quality control)用の共通答案を採点。
- ・予め定めた基準採点結果との差異が大きい採点者は再度トレーニングを行い、基準に達するまでは資格登録がされない。 8

- Common European Framework of Reference for Languages: Learning, Teaching, Assessment
- 2001年に欧州評議会(Council of Europe)がリリース。
- 「CEFRの目的は学習者の現時点での位置を示すための概念的な枠組みであり、どこに在るべきなのかを詳細に示すものではない。」
- 「このような参照枠組みが、授業や試験同士を関連付ける手助けをすることで、透明性と結束性を達成することを期待している。」

※North et.al(2010)を元に発表者訳

CEFRについて

英検

C2	Mastery	}	Proficient user
C1	Effective Operational Proficiency		
B2	Vantage	}	Independent user
B1	Threshold		
A2	Waystage	}	Basic user
A1	Breakthrough		

(University of Cambridge ESOL Examinations, 2011)

CEFRについて

英検

Proficient User	C2	Can understand with ease virtually everything heard or read. Can summarise information from different spoken and written sources, reconstructing arguments and accounts in a coherent presentation. Can express him/herself spontaneously, very fluently and precisely, differentiating finer shades of meaning even in more complex situations.
	C1	Can understand a wide range of demanding, longer texts, and recognise implicit meaning. Can express him/herself fluently and spontaneously without much obvious searching for expressions. Can use language flexibly and effectively for social, academic and professional purposes. Can produce clear, well-structured, detailed text on complex subjects, showing controlled use of organisational patterns, connectors and cohesive devices.
Independent User	B2	Can understand the main ideas of complex text on both concrete and abstract topics, including technical discussions in his/her field of specialisation. Can interact with a degree of fluency and spontaneity that makes regular interaction with native speakers quite possible without strain for either party. Can produce clear, detailed text on a wide range of subjects and explain a viewpoint on a topical issue giving the advantages and disadvantages of various options.
	B1	Can understand the main points of clear standard input on familiar matters regularly encountered in work, school, leisure, etc. Can deal with most situations likely to arise whilst travelling in an area where the language is spoken. Can produce simple connected text on topics which are familiar or of personal interest. Can describe experiences and events, dreams, hopes and ambitions and briefly give reasons and explanations for opinions and plans.
Basic User	A2	Can understand sentences and frequently used expressions related to areas of most immediate relevance (e.g. very basic personal and family information, shopping, local geography, employment). Can communicate in simple and routine tasks requiring a simple and direct exchange of information on familiar and routine matters. Can describe in simple terms aspects of his/her background, immediate environment and matters in areas of immediate need.
	A1	Can understand and use familiar everyday expressions and very basic phrases aimed at the satisfaction of needs of a concrete type. Can introduce him/herself and others and can ask and answer questions about personal details such as where he/she lives, people he/she knows and things he/she has. Can interact in a simple way provided the other person talks slowly and clearly and is prepared to help.

聞いたり、読んだりした全てのことを容易に理解できる。

幅広い分野で扱われる難しい文章を理解し、言外の意味も把握することが出来る。

自分の関連する専門的な分野であれば、具体的及び抽象的な内容に関する複雑な文章の主旨を理解することができる。

職場、学校、休暇など自分に身近な場面で出会うような標準的かつ明確な内容であれば、その主旨を理解することができる。

買い物、身近な地域の地理、就職など、日常生活で頻繁に出会うような内容の文章や表現であれば、理解できる。

日常的かつ身近で具体的な要求を満たすための表現であれば、理解したり使うことが出来る。

試験とCEFRの対応付け方法について

英検

- ・「試験をCEFRに対応付けることは複雑な取り組みである。対応付けにおける関連性は単純に観察され得るものではなく、試験開発側が理論的・実証的な証拠を示す必要のある主張である。」
- ・「そのため、試験をCEFRに対応付ける前には、その試験自体の構成概念妥当性、試験制度自体の整合性、安定性を示す必要がある。」

※North et.al(2010)を元に発表者記

試験とCEFRの対応付け方法について

英検

Familiarisation

CEFRの概念や各レベル・領域の記述やレベルの類似点や差異を理解する

Specification

- ・試験内容、問題作成、採点、試験結果分析に関する明確な記述を行う。
- ・該当試験難易度の推定、コミュニケーションタスクで測定される能力、CEFRとの関連性等の記述を行う。

Standard Setting

- ・対象技能で用いる具体的なアイテムのサンプルを用いて、該当するCEFRレベルを設定するトレーニングを行う
- ・上記トレーニング後、実際の各アイテムに対して、実際にCEFRレベル判定を行う

Validation

- ・試験妥当性(内容面、運用面、心理測定面)
- ・対応付けの妥当性(手続き面、内的、外的妥当性)

試験とCEFRとの対応付けはそれぞれの試験のおかれた社会的文脈や持ちうる知見・リソース等に応じて異なる厳格さで行うことが望ましい。(Council of Europe, “A manual” (2009)より発表者訳)

英検とCEFRの対応関係について

2017年度対照表

2017年7月10日更新

CEFR	Cambridge English	英検	GTEC	GTEC CBT	IELTS	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT	TOEFL Junior Comprehensive 2016年12月末 販売終了	TOEIC L&R TOEIC S&W
C2	CPE (200+)				8.5 9.0					
C1	CAE (180~199)	1級 (2630~3400)		1370 1400	7.0 8.0	400	800	95 120		1305-1390 L&R 945~ S&W 360~
B2	FCE (160~179)	準1級 (2304~3000)	1190 1280	1160 1369	5.5 6.5	334 399	600 795	72 94	341 352	1095-1300 L&R 785~ S&W 310~
B1	PET (140~159)	2級 (1980~2600)	960 1189	880 1159	4.0 5.0	226 333	420 595	42 71	322 340	790-1090 L&R 550~ S&W 240~
A2	KET (120~139)	準2級 (1728~2400)	690 959	510 879	3.0	150 225	235 415		300 321	385-785 L&R 225~ S&W 160~
A1		3級-5級 (419-2200)	-689	-509	2.0					200-380 L&R 120~ S&W 80~

英語4技能試験情報サイトより http://4skills.eiken.or.jp/qualification/comparison_cefr.html

英検 各級審査基準

英検

級	審査基準
1級	広く社会生活で求められる英語を十分理解し、また使用することができる。
準1級	社会生活で求められる英語を十分理解し、また使用することができる。
2級	社会生活に必要な英語を理解し、また使うことができる。
準2級	日常生活に必要な英語を理解し、また使うことができる。
3級	身近な英語を理解し、また使うことができる。
4級	簡単な英語を理解することができ、またそれを使って表現することができる。
5級	初歩的な英語を理解することができ、またそれを使って表現することができる。

英検サイトより

<http://www.eiken.or.jp/eiken/exam/criteria/>

英検 各級審査領域

英検

級	審査領域			
	読む	聞く	話す	書く
1級	社会性の高い幅広い分野の文章を理解することができる。	社会性の高い幅広い内容を理解することができる。	社会性の高い幅広い話題についてやりとりすることができる。	社会性の高い幅広い話題についてまとめのある文章を書くことができる。
準1級	社会性の高い分野の文章を理解することができる。	社会性の高い内容を理解することができる。	社会性の高い話題についてやりとりすることができる。	社会性の高い話題についてまとまりのある文章を書くことができる。
2級	社会性のある内容の文章を理解することができる。	社会性のある内容を理解することができる。	社会性のある話題についてやりとりすることができる。	社会性のある話題について書くことができる。
準2級	日常生活の話題に関する文章を理解することができる。	日常生活の話題に関する内容を理解することができる。	日常生活の話題についてやりとりすることができる。	日常生活の話題について書くことができる。
3級	身近なことに関する文章を理解することができる。	身近なことにかんする内容を理解することができる。	身近なことについてやりとりすることができる。	身近なことについて書くことができる。
4級	簡単な文章を理解することができる。	簡単な内容を理解することができる。	簡単な内容についてやりとりすることができる。	簡単な文を書くことができる。
5級	初歩的な語句や文を理解することができる。	初歩的な語句や文を理解することができる。	初歩的な内容についてやりとりすることができる。	初歩的な語句や文を書くことができる。

英検サイトより

<http://www.eiken.or.jp/eiken/exam/criteria/>

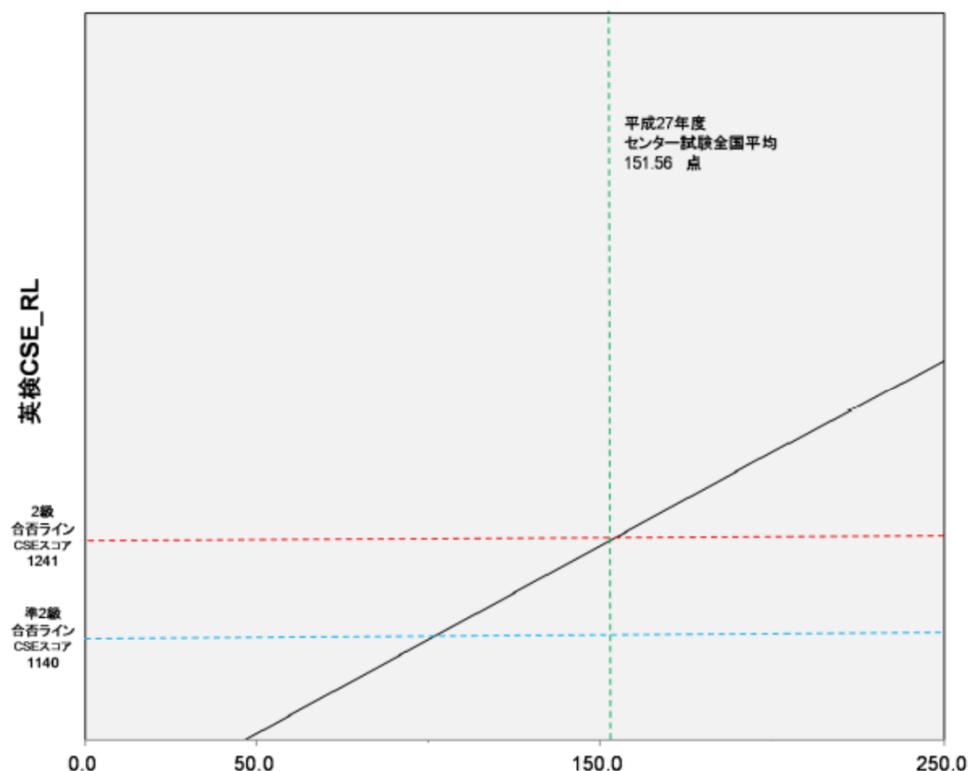
構成概念妥当性・基準関連妥当性検証

英検とセンター試験との相関性調査

英検

参加者：平成27年度大学入試センター試験（英語）で筆記・リスニングの両方を受験し、かつ大学入試センター発行の成績通知書を提出可能な方。

対象試験：実用英語技能検定（準1級-3級）・H27センター試験



英検RLスコア-
センター試験得点間相関

相関係数 $r=.894$ (N=1039)

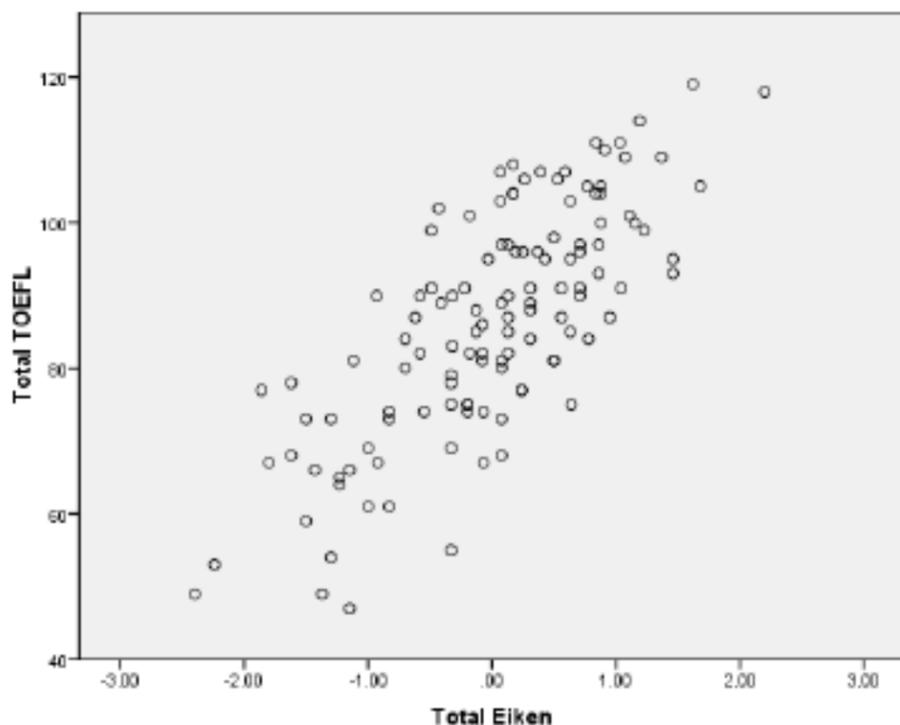
構成概念妥当性・基準関連妥当性検証

ハワイ大学マノア校 Brown教授チームとの共同研究

英検

参加者：ハワイ大学に留学中の留学生123名。
英検1、準1、2級のいずれかとTOEFL iBT_(R)を受験。

対象試験：実用英語技能検定(1級-2級)・ TOEFLiBT_(R)



相関係数 $r=.77$ (N=123)

回帰分析(N=123)

<i>R</i>	<i>R</i> ²	<i>see</i>	<i>F</i>
.765	.586	10.219	169.735*

* $p < .01$

英検とCEFRの対応付け方法について

英検

リーディング・リスニング(1-3級)

Basket Method

⇒各級各タスクの問題を確認しながら、それぞれの問題に正解するために最低限必要なCEFRレベルがどれかを判定。

Modified Angoff Method

⇒各級各タスクの問題を確認しながら、あるCEFRレベルの最低限に相当する100人の受験者がいるとして、それぞれの問題に何人ずつが正解できるかを判定。

ライティング(1,準1級)

Paper Selection Method (Tannenbaum & Wylie, 2005) ≡ Body of work method
⇒対象級の受験者サンプル回答を確認後、CEFR各レベル最低限に相当する回答を選出。

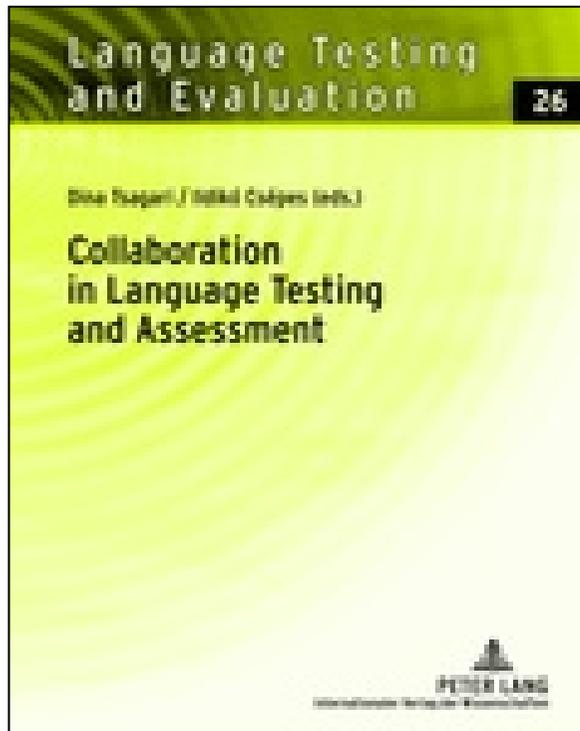
スピーキング(1-3級)

Body of work MethodとBasket method

⇒各級スピーキングタスクと実際の受験者回答例の2種類データに対してそれぞれレベル判定を行い、両方の観点から二次試験のCEFRレベルを検証。

英検とCEFRの対応付け方法について

英検



Collaboration in Language Testing and Assessment (2012)

※その他博士論文等での検証

CEFR	英検
C1	1級
B2	準1級
B1	2級
A2	準2級
A1	3, 4, 5級

※CEFR-Jとの関連性調査

※追加技能を含めた継続的な調査

ご清聴ありがとうございました。

ke-nakamura@eiken.or.jp